

お問い合わせ先

三原の夏といえば「ヤッサ ヤッサ ヤッサ モッサ ソッチャセー」を聞くと、思わず「ござさんだり、自然に体が動き出したり。宮本咲希さんと広報係は本番に向けて正しい踊り方を身に付けるべく、中央公民館で開催されている「やっさ踊り教室」に参加してきました。

なんと江曾さんは、昭和45年に大阪で開催された万国博覧会



二段跳ね。1チヨン

「お腹からしっかり声を出して」と教えてくれる江曾さん。



これぞ見本!

「ハアラヨイヨイヨイヤナヨイヤナー」  
「お腹からしっかり声を出して」と教えてくれる江曾さん。

観光課(やっさ教室について)  
☎0848-676015  
☎0848-610450  
築城450年事業推進担当室

航空機の騒音測定結果(6月分) (Lden)  
▶正広局(本郷町善入寺正広)=48.0 ▶本郷局(本郷町船木川西上)=52.7

三原の光を観よう、  
魅せよう。…… 16



瀬戸内三原 築城450年事業

「ふるさと三原」を次の世代へと伝えていく連載企画。県立広島大学三原キャンパスの学生と三原の歴史や文化を再発見していきます。



理学療法学科2年  
みやもとさき  
宮本咲希さん

三原の夏といえば「ヤッサ」。室町時代に小早川隆景が三原城を築城した際、三味線や太鼓を鳴らし、思い思いに歌を歌いながら踊って祝ったことが始まりと言われています。

「出した足の方に逆の足のつま先をチョンと跳ねて」と、やっさ踊り振興協議会の江曾幸子さんに教わります。



肘は肩より上、顔が見えるように!

「肘が肩より下がって顔が隠れないように気を付けて。手は高い位置のほうで踊っている姿がきれいに見えますよ」

のセレモニーでやっさ踊りを披露したメンバーの1人です。  
「万博で三原のやっさが披露されたなんて。全国的に有名なやっさを踊れてうれし」と気合いが入る宮本さん。  
「地方のリズムに合わせて、しっかり体を上下させて」と江曾さんの指導に、「1チヨン、2チヨン、1・2・3チヨン」とリズムをとりながら踊ります。



楽しく笑顔を  
忘れずに

「踊りを間違えても大丈夫。大切なのはその笑顔。本番も楽しく踊ってくださいね」と声を掛けていただきました。

「やっさは歌・踊り・おはやし」  
「去年より上手に踊れるようにして踊ってみましょう」  
おはやしは大きな声で



おはやしは大きな声で

あ・と・が・き  
も  
うすぐ夏の風物詩、やっさ。体が硬いので踊り方が不自然な私はやっさ踊り教室で練習してきました▼やっさだるマンも教室に参加していて、テレビ番組の撮影中。このようすは皆さんに伝えたいと思いフェイスブックに投稿しました▼皆さんは三原市公式フェイスブックを知っていますか。市からのお知らせや、取材先での出来事、三原の風景などを写真と一緒に日々更新しています▼市のページに「いいね!」を押し応援してくださいね(Y)

税金などの納期(普通徴収)  
○市県民税(第2期)  
○国民健康保険税(第2期)  
○介護保険料(第2期)  
○後期高齢者医療保険料(第2期)  
納期限 8月31日(水)  
夜間収納窓口(19時まで)  
4日(木)・18日(木)・25日(木)